



北陸新幹線ニュースレター 第2号



発行：福井県北陸新幹線建設促進同盟会

昨年12月の東北新幹線全線開業に引き続き、今月には九州新幹線鹿児島ルートも全線開業します。北陸新幹線も平成26年度末には金沢までは開業予定ですが、本県が整備効果を十分享受できるように、敦賀までの一日も早い認可・着工が求められます。

北陸新幹線の進捗状況

- **既着工区間(長野～白山総合車両基地間、福井駅部)**
 - ・ 福井駅部：H21.2完成から2年経過
 - ・ 長野～金沢間：工事着手率： 99% (H23.1.1時点)
 - 用地買収率： 99% (面積比)
 - 予算累計額 11,603億円(事業費(H15.4価格)の約74%)
- **未着工区間(白山総合車両基地～敦賀間)**
 - ・ 国が、昨年末に示した方針に基づき、着工5条件(財源、投資効果等)についてさらに検討予定
 - ・ 新たな需要予測方法に基づき投資効果等を試算

県内、沿線各県の動き

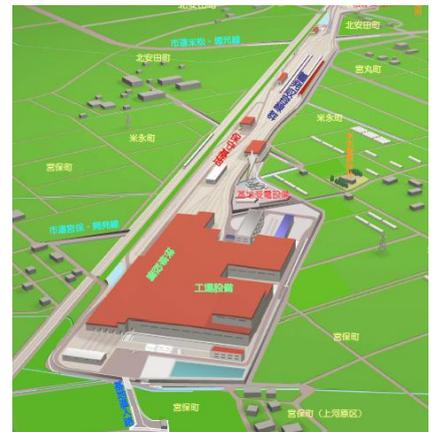
- **2月定例県議会**
(機構剰余金を財源にするよう意見書を全会一致で可決)
剰余金は、本来、鉄道機能の活性に活用すべきもので、敦賀までの整備をはじめとする新幹線整備推進のための財源確保を強く求めています。
(代表質問等での主な質疑)
敦賀以西については、大阪からの積極的な動きは敦賀までの認可実現に大きな力となるが、敦賀までの認可と敦賀以西の議論はレベルが異なること、関西と連携し、まず敦賀までを求めていく県の考えを示しました。
- **福井県**
敦賀までの認可実現に向けて引き続き、県内の理解を深めて取り組みます。また、2014年度末の金沢開業の全線開通の効果을最大限活用するため県庁内チームを設置、年内に活用プランを策定します。
- **沿線各県**
新潟県は、建設費負担が増加したことや、新潟県が求める各県1駅全列車停車に対する国の説明が不十分として、建設負担金を新年度予算に計上しないことを発表しました。
富山県は、新幹線開業後に並行在来線を運営する第3セクターについて、県単独の会社とする方針を示し、石川県も同様の方向で議論する考えを示しました。

福井駅部上空写真



福井新聞社提供

現在工事中の白山総合車両基地



今後、検修設備や電気工事等を予定、H26年度末の開業に向けて順調に工事が進んでいます。

(参考) 全国でつながる新幹線ネットワーク

昨年12月4日に東北新幹線が全線開業、今月12日には九州新幹線鹿児島ルートも全線開業し、青森から鹿児島までが新幹線ネットワークで結ばれます。

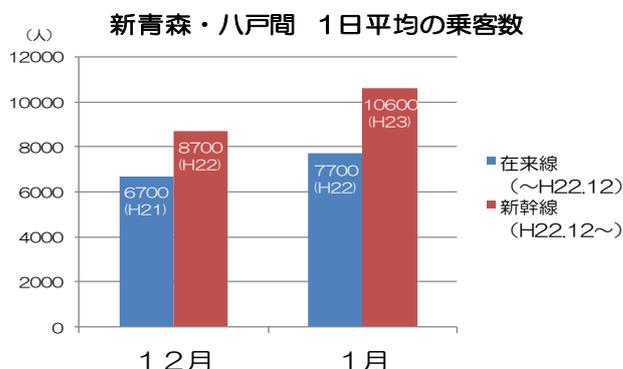
一方、北陸新幹線は2014年度末に金沢開業を予定していますが、本県区間を含む金沢以西については新幹線ネットワークのミッシングリンクとなっており、早期の認可・着工が必要です。



東北新幹線八戸・新青森間 (H22. 12. 4 開業)

JR東日本は同区間の開業後営業収入について、開業から1月末までの合計で前年同期比31%増、利用者も34%増加したと発表しました。

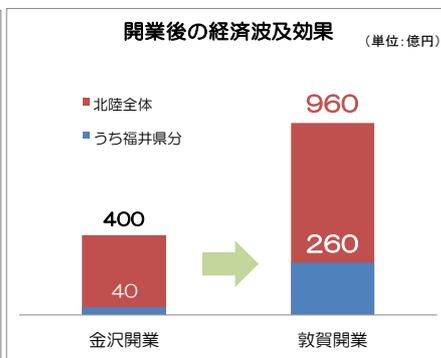
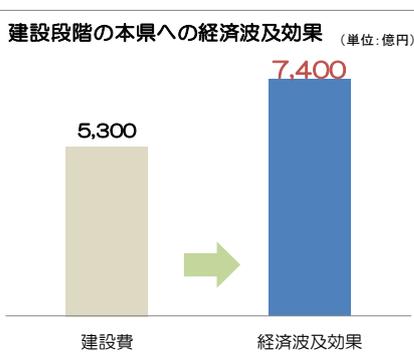
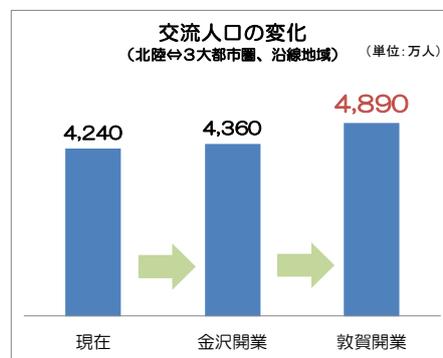
また、3月5日から最高速度300km/hの「はやぶさ」の運行も開始されました。(東京・新青森間3:10)



九州新幹線博多・新八代間 (H23. 3. 12 開業)

同区間の整備により、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業、鹿児島中央から新大阪までの直通列車も運行され、最速3時間45分で結ばれます。

北陸新幹線の敦賀延伸による整備効果



H22.6 北経連、H21.3 福井県

<問い合わせ先>

福井県北陸新幹線建設促進同盟会 (事務局: 福井県新幹線建設推進課)

TEL: 0776-20-0298 Fax: 0776-20-0729 E-mail: shinkansen@pref.fukui.lg.jp